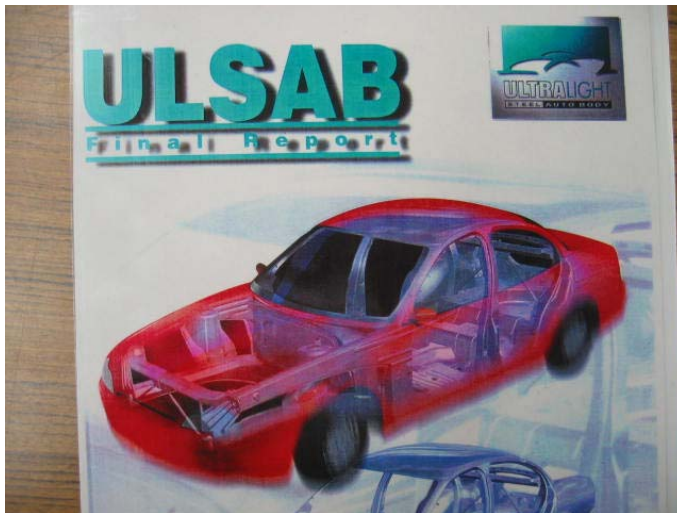


所属・職・氏名	岩手大学工学部 材料物性工学科 材料学 教授・堀江 皓
シーズ名	鋼Mn 鋼スクラップのリサイクル技術
シーズの概要	我が国ではここ数年前から自動車の衝突時における安全性の確保から車体（ULSAB:Ultra Light Steel Auto Body）に高強度、軽量の鋼Mn 鋼が使用され始め、2005年までには自動車用車体鋼板の約50%はこの鋼Mn が使用される見通しである。一般に車体のプレス工程で発生したプレス屑（120万トン/年）は鋳造工場に回り、シリンダーブロック、シリンダーヘッド等の原材料としてリサイクルされている。しかし、高Mn 鋼はMn 含有量が高いためチル化と呼ばれる材質硬化が起こるため、このまま使用することはできない。 そこで、希土類元素を鋳鉄中の硫黄と化学量論的な量添加することでMn によるチル化を防止し、Mn を有効利用することで強靱鋳鉄が得られる。
その他参考資料	 ULSABを用いた車体
共同研究機関・企業	ダイハツ工業（株）
特許(出願)番号	特願 2001-375823